

## くまの自然歳時記 Vol.4 春の妖精たち



あなたが春を感じるのはどんな時ですか。ウグイスのさえずりが聞こえた時、桜が開花した時など、2~3月になると視覚や聴覚を通じて多くの春が私たちに刺激する。暦の上での春は二十四節気の「立春」だが、2月の初旬はまだ春というにはほど遠い。

筆者は3月の初旬頃、アマナ(Amana edulis)やジロポウエンゴサク(Corydalis decumbens)といった野草の花が咲くと春の到来を感じる。前後して様々な野鳥がさえずりはじめ、大地が緑へと変わり、自然が躍動し始める。

さて、このアマナやジロポウエンゴサクは他の植物に先んじて春早くに見られる野草で、日当たりのよい田の畔や道端など「里山」と呼ばれる自然環

境で観察できる。ひとつひとつの個体はかまないと気付かないくらい草丈が低い(草丈)が、群生して生育しているため、その存在がわかる。最大の特徴は花を咲かせ、実を結ぶ一連の営みがごく短い期間に行われることだ。さらにこの営みが終了すると、さっと地上から姿を消してしまう。

このような野草を「スプリング・エフェメラル(Spring ephemeral)」と呼び、「はかない春」「短い春」と訳され、「春の妖精」とも比喻される。気温が上昇する春、一気に植物が生長し始める。草丈の低い春の妖精たちは、多くの野草に混じって伸長すると光合成に必要な光を獲得することができない。そこで考えたのが、いち早く葉を広げ、降り注ぐ春の陽光を独り占めすることだ。厳しい生存競争を勝ち抜いてきた春の妖精たち

の知恵である。人と自然が長い時間をかけてつくりあげてきた里山。この身近な環境でのみ生きることができる春の妖精たちが今棲み家を追われている。田や畑が宅地になり、放棄する耕作地が増え、人の手が加わらない自然環境が増えてきたのだ。

里山。なんとなく懐かしく感じるこの言葉。人は住みやすさを求めて簡単に環境を変えるが、その犠牲になる多くの生き物たちがいることを忘れてはならない。代々受け継がれてきた里山。人と自然が育んできた里山。ほっと癒される原風景の存在を今、真剣に考える時だ。



# 三重県立熊野古道センター

The Letter from Mie Prefectural Kumano Kodo Center からのてがみ

2023 No.66 春



みんなで歩こう

特別展示室 企画展

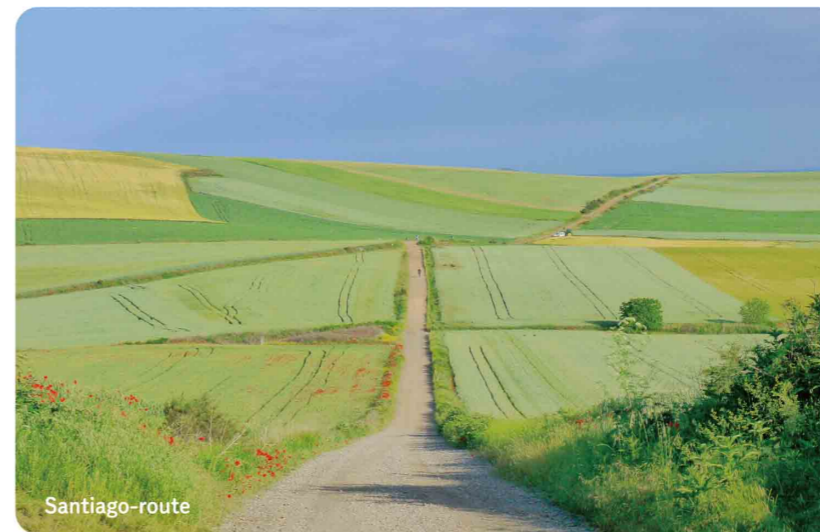
## サンティアゴ・デ・コンポステーラ展

～絵地図でめぐるスペイン巡礼道の旅～

三重県津市出身のイラストレーターで、絵地図作家としても活躍中の植野めぐみ氏による作品展を開催します。

会期

2023 4/8(土) ~ 6/4(日)



植野めぐみ氏は熊野古道の調査員をしていた頃、キリスト教の聖地のひとつであるサンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼路「カミーノ・デ・サンティアゴ」の存在を知り、2012年、フランスとスペインの国境にあるサン・ジャン・ピエド・ポーから約800kmのサンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂を経て、スペイン最西端のフィニステラ海岸まで計890kmを踏破しました。「フランス人の道」と呼ばれるこの巡礼路は、宿泊施設や道路標識が豊富で、巡礼の歴史に関わる建築物も多く見ることができる人気のルートです。道の世界遺産「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路」として登録されており、多くの巡礼者が訪れています。

今回の展示では、植野めぐみ氏が2020年から2023年にかけて制作したカミーノ・デ・サンティアゴの絵地図(前・中・後編)の原画コピー、イラスト原画、幅2メートルの大絵地図など、全54点の作品展示を行います。

絵地図やイラストを見ながら、スペインを横断する約900kmの巡礼道を歩く気分を味わっていただける展示となっています。徒歩だからこその見える世界が緻密に表現されたイラストを通して、道の世界遺産の魅力を感じていただけますと幸いです。

写真提供/植野めぐみ氏

## ひとりごと 川端守の

今回は京都から伊勢までの旅をふり返る

明治26年9月20日。彼岸の入りの日旅立ち。

東山清水の庵室を出て、師の僧や旧友たちとの別れを惜しむため修学院にある林丘寺に立ち寄り泊まる。今日は2里。

9月21日。雲母坂は路が悪いので無動寺を越す。山は萩や野菊が咲き乱れて興がある。峠を越えて近江の国を眺めると琵琶湖が細長く見えて川にようだ。唐崎の松の下に宿を求めた。今日は4里余り。

9月22日。大津を過ぎ膳所に至り、義仲寺見学、今宵は草津に泊る。今日は5里。

9月23日。彼岸の中日。4日目の今日は肩の痛み強し。



## NO.11 愚庵「巡礼日記」を歩く(その3)

夕暮れに土山の里に着く。今日は9里半。

9月24日。田村神社に参詣、参道で二人の女童が泣きつつ行くに会う。姉は11、2歳、妹は8、9歳ぐらい。貧しい家の子と見えたが乞食ではない。草履を踏み切り歩けないという。親はどうしているのかと尋ねたが返事はなく唯さめざめと泣く。余りにかわいそうなのでお金を与えて別れた。鈴鹿峠にかかる。ここより伊勢路という。坂下、関と過ぎ、5時頃椋本に着く。今日は6里。

9月25日。雲津を過ぎて六軒に宿る。今日は6里。

9月26日。午後3時に山田に入り、外宮参詣。ここから内宮へは2、30町。今宵は五十鈴川の通りに宿を求め、「十七夜の月、宇治橋の上に昇り、瀬々の川波に映りて、余りのありがたさに」寝ることもできなかった。今日は8里半。



お知らせ

LINE@ 公式Twitter、Instagram 随時配信!

探しています!

御浜町の古写真を探しています!

昭和以前に撮影された、御浜町の風景・街並み・祭り・行事・生活の様子等が分かる古写真を探しています。当該写真をお持ちの方はぜひご協力ください。(連絡は熊野古道センター事務局まで)

注意事項 提供ご本人が撮影した写真、または使用(複製・掲載・展示など)権を持つ写真に限ります。ご提供いただいた写真の全てを展示できない場合もございます。

センター敷地内 『夢古道おわせ』

海鮮レストラン イサバヤ

尾鷲を一望できる海鮮レストランで、新鮮な魚介類を使った海鮮丼やステーキなど、漁師直営のお料理をお楽しみいただけます。

営業時間 午前11時~午後2時 (オーダーストップ)

みえ尾鷲海洋深層水 夢古道の湯

深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もホカホカです。

営業時間 午前10時~午後9時30分 (入館受付:午後9時まで)

「夢古道おわせ」に関するお問い合わせは TEL 0597-22-1124

お車でお越しの方は...

尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルビオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分) ※尾鷲北ICからは約8分

電車で越しの方は...

JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅前」バス停(徒歩5分) 乗車→「熊野古道センター」下車

## 熊野古道センターからのてがみ 2023年 春号

- 発行日:2023年3月10日(季刊)
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当:小島
- 連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumanokodocenter.com
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター 検索

ホームページ <https://www.kumanokodocenter.com/> 60000230310RK



# 旬の企画展

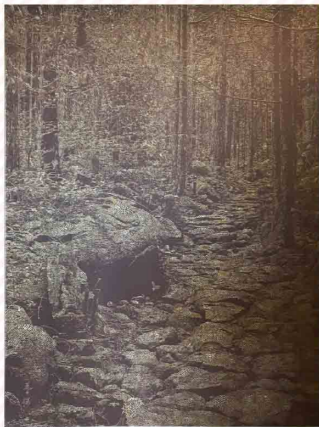
企画展

## 演・舞・彩 ～伊勢型紙の魅力にせまる～

2023 4/22(土)・6/18(日)

●会期中無休  
時間 午前9時～午後5時  
入場料 無料  
場所 企画展示室

伊勢型紙の伝統的な彫刻技術を用いて丹念に彫られた『彫型画』作品を展示します。作品を通じて、美術品としての伊勢型紙の魅力をお楽しみください。



付属イベント \ 体験教室 /

## 伊勢型紙を彫る・染める

2023 5/21(日)  
時間 午後1時30分～3時30分  
参加料 2,500円(材料費込み)  
定員 20名(要申込・応募多数の場合抽選)  
場所 体験学習室  
講師 大杉華桜氏(伊勢型紙彫型画会会長)  
受付 4月14日(金)～5月14日(日)午後5時まで



伊勢型紙の彫りと染めを実際に体験。尾鷲ヒノキの額入り壁飾りとポストカードを制作します。

付属講演会

## 伊勢型紙の これからを考える

2023 5/28(日)  
時間 午後1時30分～3時  
入場料 無料  
定員 40名(要申込・先着順)  
場所 映像ホール

伊勢型紙彫刻師・大杉華桜氏による講演会を開催します。講演のはじめには子安観音寺のご住職による講話も予定しています。

講師 後藤泰成氏(子安観音寺住職)、大杉華桜氏(伊勢型紙彫型画会会長)  
受付 4月22日(土)～5月27日(土)午後5時まで

特別展示室企画展 // みんなで歩こう!!

## サンティアゴ・デ・コンポステーラ展 ～絵地図でめぐるスペイン巡礼道の旅～

2023 4/8(土)・6/4(日)

●会期中無休  
時間 午前10時～午後5時  
入場料 無料  
場所 特別展示室

道の世界遺産「カミノ・デ・サンティアゴ」の魅力、津市出身のイラストレーター、植野めぐみ氏によるイラストと絵地図でお楽しみいただけます。



付属講演会

## カミノ・デ・サンティアゴを歩く ～体ひとつでつなぐ旅～

2023 4/22(土)

時間 午後1時30分～3時  
入場料 無料  
定員 60名(要申込・先着順)  
場所 映像ホール  
講師 植野めぐみ氏(イラストレーター・絵地図作家)  
受付 3月21日(火・祝)～4月21日(金)午後5時まで

原画のモデルとなったカミノ・デ・サンティアゴの景色をスライドで楽しみながら、巡礼路の魅力についてお話しさせていただきます。



## 日曜わくわくものづくり体験

東紀州で活躍中の木工職人や工芸家を講師に、毎週日曜日に開催している体験教室です。講師は週替わり、事前申込不要で、小さなお子様から大人まで気軽に楽しんでいただけます。

毎週 日曜日開催!

時間 午後1時～3時まで受付  
参加料 300円～●体験によって異なります。  
場所 交流棟大ホールまたは展示棟ロビー

詳しくは熊野古道センターホームページでご確認ください。



## 東紀州の四季も味わう料理教室

### 2023 4/23(日) 春の行楽弁当

時間 午後1時～3時  
参加料 2,000円  
定員 20名  
(要申込・応募多数の場合抽選)

場所 体験学習室  
講師 西岡宏起氏(相可高校食物調理科教諭)、相可高校調理クラブの皆さん  
受付 3月16日(木)～4月16日(日)午後5時まで

体験学習



## スタッフコラム

お正月SP  
体験教室



凧あげ

本年度のお正月SP体験教室は、恒例の連凧づくり体験、紙飛行機づくり体験、絵馬づくり体験に加えて、スマホスタンドづくり体験の4本立て。中でも連凧づくり体験は、毎年大人気!制作時、凧糸の扱いが難しいですが、飛ばせた時の達成感が半端なく、お子さんよりも親御さんが走り回ってはしゃぐ姿がとても印象的でした。薄いカラーフィルムと竹ひごに託す大空へのロマン!あなたも熊野古道センターの芝生広場で感じてみませんか!?



紙飛行機づくり



スマホスタンドづくり



無病息災

古文書講座



平成27年度から始まった連続講座「古文書からひも解く地域の暮らし」では、尾鷲古文書の会会員の皆様にご指導いただき、地域に残る様々な古文書を解読してきました。くずし字の読み方はもちろん、江戸時代の尾鷲の暮らしについてわかりやすく解説していただけるため、古文書の内容への理解がより深まる講座になっています。4月からも引き続き開講しますので、古文書や地域の歴史・文化にご興味のある方はぜひご参加ください。

# イベント情報

交流イベント

## 熊野古道音楽祭

### ～ハーブ弾き歌い&フルーツの調べ～ やすらぎの音楽、くつろぎの時間

声楽とハーブを組み合わせた、グランドハーブ弾き歌いの第一人者である速海ちひろ氏と、テレマ室内オーケストラ首席フルート奏者の森本英希氏によるコンサートを行います。春から初夏にかけての爽やかな季節をイメージした楽曲を中心に、弾き歌いと演奏をいただきます。

2023 6/17(土)

時間 午後2時30分～4時(午後2時開場)  
入場券 1,500円  
定員 150名(要入場券・先着順)  
場所 交流棟大ホール  
出演 速海ちひろ氏(ハーブ・ソプラノ)、森本英希氏(フルート・リコーダー)

受付 4月22日(土)午前9時～熊野古道センターにて入場券販売  
対象 未就学児のお子様のご入場はご遠慮ください。



交流イベント  
GW  
Dream Festa

# ゴールデンウィーク ドリームフェスタ

期間中、芝生広場などにおいて、ご家族そろって楽しめるイベントを開催します。ゴールデンウィークは、ぜひ熊野古道センターへお越し下さい。

イベントの内容は、4月中旬頃に熊野古道センターホームページなどでお知らせします。また、新型コロナウイルスの感染状況によって中止となる場合がありますので、予めご了承ください。



ヒノキのボールプール

講座・講演

## 新熊野学講座 大台ヶ原と 海跡湖の植物

東紀州の自然を代表する大台ヶ原と海跡湖に生育する植物たちを紹介します。

2023 3/18(土)

時間 午後1時30分～3時30分  
入場料 無料  
定員 40名(要申込・先着順)  
場所 映像ホール  
講師 山本和彦氏(三重自然誌の会会員)  
受付 3月17日(金)午後5時まで



講座・講演

## 新熊野学講座 尾鷲の郷土史雑考

尾鷲市立中央公民館郷土室にて資料の調査・整理・展示に携わる学芸員脇田大輔氏に、紀州藩の一里塚調査や「曾根石」など、尾鷲の郷土史についてお話しいただきます。

2023 6/10(土)

時間 午後1時30分～3時30分  
入場料 無料  
定員 60名(要申込・先着順)  
場所 映像ホール  
講師 脇田大輔氏(尾鷲市教育委員会生涯学習課 学芸員)  
受付 5月9日(火)～6月9日(金)午後5時まで



曾根石

連続講座

春季

## 山歩き講座【初級編】

熊野古道伊勢路を歩いてみたい方、山歩き初心者の方、登山を基礎から学びたい・スキルアップを目指す経験者の方のための、2日連続の山歩き講座「初級編」を開催します。

第1回 5/13(土) 午前10時～午後3時  
第2回 5/14(日) 午前9時～午後3時30分  
参加料 500円(保険料・資料代)  
定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)  
対象 小学3年生以上(小学生は保護者同伴)  
場所 第1回 体験学習室・第2回 便石山・馬越峠(少雨実施)  
講師 宮本秀男  
(熊野古道センターセンター長、日本スポーツ協会山岳コーチ2)  
受付 3月29日(水)～4月29日(土・祝)午後5時まで



馬越峠

連続講座

## 熊野古道センター 水彩画教室

熊野古道とその周辺の風景を描く水彩画教室を開催します。東紀州の四季を感じながら、水彩画を楽しく描きましょう。

2023 4/15(土) 5/20(土) 9/2(土) 10/7(土)  
時間 午前10時～午後4時 全4回開催  
参加料 3,000円(保険料含む、全4回分)  
定員 15名(要申込・先着順) ●画材は各自で用意してください。  
対象 中学生以上 ●絵を描くのが好きな方、初心者の方も歓迎  
場所 4/15熊野市木本町、5/20以降は未定  
●決まり次第、熊野古道センターホームページにてお知らせします。  
講師 三隅俊昭氏(画家)  
受付 3月25日(土)午後5時まで



連続講座

## 古文書講座 古文書からひも解く 地域の暮らし

史料保存の大切さと地域の歴史・文化についての関心を深めていただくため、古文書の基礎的な知識の習得を目指す講座を開催します。

令和5年4月～令和6年3月までの  
毎月第4土曜日(全12回)

時間 午後1時30分～3時30分  
参加料 1,500円(資料代)  
定員 20名(要申込・先着順)  
場所 図書資料室または小ホール  
講師 尾鷲古文書の会  
受付 3月20日(月)～4月2日(日)午後5時まで

熊野古道自然学校

## 大台ヶ原自然観察会

吉野熊野国立公園の特別地域に指定されている「西大台」を散策し、樹木や野草について学びます。

2023 6/3(土) ●雨天の場合中止

時間 午前9時～午後3時  
参加料 1,500円(保険料・資料代・入山手数料)  
定員 16名  
(要申込・応募多数の場合抽選、2班に分かれます。)  
対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)  
場所 西大台利用調整地区(奈良県上北山村)



西大台のシンボルツリー「かほちまミズナ」

講師 山本和彦氏(三重自然誌の会会員)、橋本博(熊野古道センター副センター長)  
受付 4月20日(木)～5月20日(土)午後5時まで

体験学習

## 三重県民の日体験

2023 4/15(土)

時間 午後1時～3時  
定員 材料がなくなり次第終了(事前申込不要)  
場所 交流棟大ホール  
講師 熊野古道センター職員

参加料 ヒノキの箸 400円  
缶バッジ 100円

4月18日の「県民の日」にちなみ、ヒノキの箸づくり・缶バッジづくり体験を開催します。



道普請の様子

うららかな春の日差しが心地よい季節となりました。

参詣道の保全活動である「道普請」活動は、令和4年度は1月末日現在で延べ37団体、1541名の方が参加しました(一部下記参照)。新型コロナウイルスの感染拡大による行動規制が緩和された影響か、参加者は昨年度の倍近くになりました。今後も基本的な感染対策に留意しつつ、より多くの方々に来ていただけるように取り組んでまいります。

和歌山県内の児童生徒を対象にした教育活動である「次世代育成事業」は、令和4年度の参加校数が22校となり、689名の児童生徒が世界遺産についての知識を深め、熊野地域や高野地域とその参詣道歩いて地域の魅力を実感しました。

また2月には、新高高校の1年生を対象に、中辺路の小雲取越を歩くロングハイキングの事前学習として、学校で世界遺産講座を行いました。

令和4年11月中旬～令和5年1月末までの道普請参加団体(敬称略)

和歌山市立楠見西小学校、一般社団法人さわみ財団、株式会社ヤママップ、東京学芸大学附属高等学校、橋本市立西小学校、環境保全トレンギング(大辺路)、和歌山県警察本部少年課、株式会社日本道路、那智勝浦町立下里小学校、聖隷クリスティアン高等学校、市川国際奨学財団、田辺市立本宮中学校、連合和歌山、和歌山県世界遺産マスター研修会(本宮)

道普請には、資料費が別途必要 ●道普請の事情により、延期または中止、日程及び内容を変更する場合があります。

詳しくは道普請のウェブサイト <https://www.sekaiisan-wakayama.jp> をご覧ください。またご不明な点があれば道普請センターへお問い合わせください。

新型コロナウイルスの感染状況により、内容に変更になる場合がございます。●詳細はホームページでお知らせします。

お申込み・お問い合わせは、お電話が直接 熊野古道センターへどうぞ! TEL.0597-25-2666